

嶋谷市左衛門小笠原諸島巡検 350 周年記念事業 第 3 回 実行委員会 会議概要

- 1 日時 令和 7 年 4 月 28 日（月）17：00～18：00
- 2 会場 小笠原村役場会議室
- 3 出席委員 渋谷会長、木本委員、大場委員、池田委員、宮城委員、延島委員、吉井委員、上原委員、
柏木アドバイザー
事務局 持田教育課長、亀山係長
- 4 会議の内容
 - (1) 令和 6 年度活動報告及び令和 6 年度会計報告の承認
 - (2) 事業部会報告（令和 7 年度事業について）の審議と承認
 - ・「講演会の実施」事業について、今回の柏木アドバイザーのレクチャーは講演会ではなく勉強会であるため、事業タイトルを「講演会等の実施」にすべきである、という意見が出された。
 - ・「講演会の実施」事業について、柏木アドバイザーに、もう一度、村民対象の講演会をお願いしたいという意見が出された。
 - ・講演会の講師案にある松尾晋一先生という方はどういう方か、という質問が出された。
 - ・「顕彰碑の設置」について、現時点で一番有力な場所は宮之浜ではないかと考えるが安全性で心配がある、との意見が出された。
 - ・「特別展示」について、展示用ショーケースを村で購入するなどして手配し、本村教育委員会が所有する実物の古地図「伊豆七島全図 附無人島八十嶼図」を展示した方がよい、という意見が出された。
 - ・歴史の継承について、俗説がまかり通っている現状を改めるために、歴史を正しく継承することが必要である、という発言があった。
 - ・「無人島」の表現について、歴史を正しく継承することに力を入れるために、根拠のない「ぶにんじま説」をなくし、「むにんしま（じま）」と発信していくべきである、という意見が出された。
 - ・記念碑の除幕式を行うにあたり、長崎市との調整はどうなっているか、という質問が出された。渋谷会長からは、長崎市では長崎学研究所で夏に展示を開催するという事は聞いているが、それ以外の動きは聞いておらず、嶋谷の顕彰事業に対する小笠原村と長崎市に温度差を感じている、との発言があった。
 - ・長崎学研究所で開催する展示を見て見たいという意見が出された。
 - ・上記の様々な委員からの意見を総合し、渋谷会長から上原事業部会長に「講演会の実施」事業については「講演会等の実施」と訂正するように指示が出された。また、それぞれの事業について、再度、事業部会で検討し、案を出すように指示が出された。
 - ・本事業の取組の方向性としては、「歴史認識の確認」「講演会等の実施」「顕彰碑・解説の設置」「特別展示の実施」「広報」を行っていくことで承認された。
 - (3) 事業スケジュール案の審議と承認
 - 大まかなスケジュール案が承認された。